

審査会後に寄せられた委員意見と事業者見解

No.	項目	細目	質疑・意見の概要	事業者の見解	備考
1	事業計画	施設配置	方法書 p.6-86、87 の対象事業区域北側の池およびその周辺の湿地帯について、現地視察の際に、この池は新清掃工場建設時に出た残土で埋める可能性があるとのことでした。現地視察では、池の水は少なく沼地状にはなっていたものの、周辺の多くが農地となっているこの地域にとっては生物の生息域として貴重な場所と考えます。この地域をできるだけ残す方向で検討してください。	対象事業実施区域内にある池については、今後実施する現況調査の結果や、建設事業者からの提案も踏まえ、埋め立ての有無について慎重に検討を進めてまいります。その結果については、準備書に記載いたします。	
2	事業計画	公害防止基準	方法書 p.2-19 表 2-7 の公害防止基準（排ガス）において、計画値と法規制値ともにばいじん、塩化水素、窒素酸化物、ダイオキシン類は、酸素濃度 12%換算値としているのでしょうか。	ご指摘のとおり、公害防止基準値については、酸素濃度 12%換算値の値を示しております。準備書においては、酸素濃度 12%であることを明記いたします。	
3	調査・予測・評価	悪臭	方法書 p.8-33 悪臭（2）調査方法⑤ 既存発生源の状況について、現地視察において目立った発生源はありませんでしたが、臭気濃度では自動車排ガスも含めてあらゆるにおいを拾ってしまうため、臭気調査にあたっては自動車排ガス等の既存の発生源の状況も勘案して計画を立ててください。	臭気調査の実施にあたっては、既存の発生源の状況を確認の上、適切な調査計画を立案した上で、調査を実施いたします。	
4	調査・予測・評価	悪臭	方法書 p.8-35 悪臭（1）予測③予測地域・地点について、施設の排ガスについては、煙突高が建屋の 2.5 倍以上で、ダウンドラフトの心配はないと思いますが、千城台駅付近の高層住宅への影響について、事業者の見解を示してください。	煙突排ガスの予測高さは、地上 1.5m を基本に行います。なお、予測の結果、千城台駅付近において高い濃度が予想される場合には、必要に応じて、千城台付近の高層住宅付近での高さ方向の予測も併せて行います。	

審査会後に寄せられた委員意見と事業者見解

No.	項目	細目	質疑・意見の概要	事業者の見解	備考
5	調査・予測・評価	悪臭	災害廃棄物は、すぐに処理できないと思いますので、有機物が含まれていれば腐敗した状態で持ち込まれる可能性があります。通常よりも臭気対策が重要になるとかと考えますが、事業者の見解を示して下さい	本市では千葉県震災廃棄物処理計画を定めております。同計画において、災害時には、がれき、粗大ごみは増加するものの、阪神淡路大震災時における神戸市での状況などから、生ごみの量は変化しないと見込んでいます。 なお、通常の処理においても、生ごみ等の腐敗性のある有機物を焼却するため、プラットホーム出入口での自動開閉扉やエアカーテンの設置、ごみピット内の空気を燃焼用空気として吸引し負圧に保つとともに、吸引した空気を燃焼させることにより、臭気成分を分解する等の臭気対策を講じる計画です。これらの対策を講じることにより、災害時にも問題ないと考えております。	
6	調査・予測・評価	低周波音	方法書 p. 8-57 の低周波音について、予測方法として類似事例の参照とあるが、どのような施設を参照の対象とするのか、事業者の見解を示して下さい。	本施設の処理方式はガス化熔融方式で、処理能力は 585 t /日としています。 低周波音についての類似施設としては、同じ処理方式、処理能力が同程度の施設で、建物構造等も類似した施設を基本と考えております。	